

ふるさと教育指導書



多可町教育委員会

(R 5 改訂版)

目 次

第1学年	
鹿の恩がえし（1時間）	2
第2学年	
りょんりょん（1時間）	3
第3学年	
あまんじゃこ（1時間）	4
人を大切にする町をめざして 門脇政夫（1時間）	5
第4学年	
日本一の酒米 山田錦の父 山田勢三郎（1時間）	6
郷土の歌人 山口茂吉（1時間）	7
第5学年	
播州歌舞伎を知ろう（1時間）	8
播州歌舞伎を見よう（1時間）	9
まいぎり式火起こしを体験しよう（3時間）	10
第6学年	
【東山古墳】	
古墳時代にタイムスリップ ～東山古墳を見学しよう～（4時間）	12
勾玉作りに挑戦しよう（3時間）	13
【杉原紙】	
郷土のほこり「杉原紙」について調べよう（1時間）	14
郷土のほこり「杉原紙」のすばらしさを知ろう（2時間）	15
卒業証書を作ろう（2時間）	16
村人を守るために 夏梅太郎衛門（1時間）	17

第1学年	
鹿の恩がえし	
目標および時間数（1時間） 鹿と与一の行動から鹿の気持ちを想像することをとおして、与一のように、動植物に優しい心で接することができるようにする。	
準備物 紙芝居、杉原紙（卒業証書）、楮畑（奥荒田集落）の写真	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 杉原紙ですいた卒業証書を見て何からできているのか想像する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の卒業証書が杉原紙でできていることをおさえる。 ・楮畑の写真を見せ、楮から杉原紙ができることをおさえる。
2 紙芝居「鹿の恩がえし」を聞き、鹿の気持ちについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと多可町に伝わる昔話であることをおさえる。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿はどんな恩返しをしてくれたのか、話し合う。 ・ 気を失った与一の体を温めて助けてくれた。 ・ 楮がいっぱい生えているとことを教えてくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙芝居の絵を見せながらどの絵が恩返しの場面を示している絵なのか話し合わせる。 ・ 鹿が与一を温めているところと一面に楮が生い茂っている場所を教えてくれているところの絵に注目させる。
鹿は、どうして恩返しをしたのだろうか。	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿が恩返しをしてくれたわけを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうして鹿は、与一に恩返しをしたのか考えさせる中で与一の動物を思う優しい心に焦点を当てる。
3 教師の話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活などでみられる、動植物への優しい心が現れている場面など、身近なエピソードをとりあげる。
わたしたちのふるさと多可町	P77～78
関連資料	まんが版「杉原紙の歴史」 紙芝居「鹿の恩がえし」
関連機関等	杉原紙研究所・那珂ふれあい館
その他	

第2学年	
りょんりょん	
目標および時間数（1時間） 貴船神社のお祭りに関する伝承を知り、風土記の時代からの伝統ある地域の文化や地名の由来に関心を持つ。	
準備物 紙芝居、DVD（10分程度）天狗のお面（あれば）感想を書くワークシート	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 本時のめあてを知る。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 八千代区のおまつりについての言い伝えを知ろう。 </div>	
2 りょんりょんの紙芝居を見る。 ・④猿田彦（りょんりょん）が土地を図る→⑪槍で3本線を引く ・⑤⑥猿田彦（りょんりょん）が溝を掘り、獅子が土地を耕す。→⑫⑬りょんりょん（天狗）と獅子が飛び跳ねる。 ・⑧獅子がマメ作りを教える。 ・⑭田楽：ササラや太鼓を鳴らし、豊作を祈る舞であることを知る。	・①～③の紙芝居でいったん止め、地図で中村、坂本、横屋、下村の場所を確認し、かつてその地区全体を天船村と称していたことを確認する。 ・朗読後、主要となる紙芝居の場面を黒板に掲示しながらお祭りの一つ一つの場面を振り返り、確認していく。
3 お祭りのDVDを見る。（10分） ・紙芝居で見た場面をDVDの映像で見て確認する。	・DVDを龍王の舞の場面ごとに止めながら、紙芝居での場面と合わせて一つ一つの動きが何を表しているのか確認しながら視聴を進めていく。
4 りょんりょんになりきって天狗のおめんをつけて、踊る。	・準備できれば天狗のお面を準備し、数人にやらせる。
5 学習のまとめをする。 ・龍王の舞についての伝承を知り、感じたことを自由に書く。	・自由に書けるよう十分に時間をとる。
わたしたちのふるさと多可町	P73
関連資料	心のふるさと八千代町のおかし話 P20 紙芝居「りょんりょん」
関連機関等	
その他	

第3学年	
あまんじゃこ	
目標および時間数（1時間） あまんじゃこの伝説を知り、多可町の地名とその由来について関心を持つ。	
準備物 紙芝居（多可町図書館より貸出）、あまんじゃこのイラスト、ワークシート、 掲示用白地図	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 あまんじゃこについて知っていることを発表する。 本時のめあてを確認する。	・多可町の歴史やあまんじゃこについて自由に発表させる。 ・あまんじゃこのイラスト（多可町のイメージキャラクター）を掲示する。 ・あまんじゃこ（あまのじゃく）の意味に触れる。
あまんじゃこの話に出てくる場所を確かめ、あまんじゃこマップを作ろう。	
2 「あまんじゃこ」の紙芝居を見る。 ・紙芝居を聞く。 ・紙芝居の場面ごとに出てきた地名を確認する。 ④妙見山 ⑤笠形山・黒田の庄・野間 ⑥杉原 ⑧丘山・茂利の太子山・奥中 ⑨杉原川（の稚児が淵） ⑩鍛冶屋 ⑫思い出川	・紙芝居を朗読し、その後、場面ごとに確認しながら黒板に掲示していく。 ・場面ごとに出てきた地名を資料の下に板書する
3 ワークシートの白地図に地名を書き込み、あまんじゃこマップを完成させる。	・掲示用白地図（または大型に映し出したワークシート）に書き込みながら、一つ一つの場所を確認し、おさえていく。
わたしたちのふるさと多可町	表紙裏「多可」という地名の由来
関連資料	リーフレット「OH! TAKA・RA風土記」 紙芝居「あまんじゃこ」 心のふるさと八千代町のむかし話 P26
関連機関等	
その他	

第3学年	
人を大切にする町をめざして -門脇政夫-	
目標および時間数 (1時間) 「人を大切にする」ことを信念として、敬老の日制定に大きく貢献された門脇さんを通して、お年寄りを大切にし郷土を愛する心を育てる。	
準備物 掲示用挿絵 ワークシート	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 本時の学習について知る。 2 資料「人を大切にする町をめざして -門脇政夫-」の範読を聞きながら黙読をする。 ・敬老の日誕生の背景を考える。	・敬老の日について事前にアンケートを実施し掲示する。 ・場面の状況や主人公の心情が思い浮かぶよう、丁寧に読み聞かせる。 ・門脇さんの足跡をたどることで、敬老の日誕生の背景に目を向けさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> こころはなぜ「その石碑見に行く。それで、来年は、おじいちゃんとおばあちゃんの似顔絵をかく」と言ったのでしょうか。 </div>	
3 今日の学習を振り返り、多可町をどんな町にしたいか考える。	・敬老の日の誕生の源は、郷土を愛する気持ちや思いやりの心であることを感じ始めている主人公の気持ちを捉えさせる。 ・書く時間を確保し、考えを整理できるようにするとともに、考えや感じ方を深め合わせる。 ・本時の学習を振り返りながら、門脇さんの町づくりに対する思いについて考える。 ・自分たちも多可町を大切にしていこうとする意欲をもたせる。
わたしたちのふるさと多可町	P83～84、P117～118
関連資料	紙芝居「門脇政夫物語」 「敬老の日提唱の地」の石碑
関連機関等	
その他	

第4学年	
日本一の酒米－山田錦の父 山田勢三郎－	
目標および時間数（1時間） 多可町の名産「山田錦」が山田勢三郎の熱心な米作りから生まれたことを知り、郷土の米を誇りに思い郷土の名産品の発展を考えることで、郷土を愛する道徳的心情を育てる。	
準備物 写真 山田錦うどん 酒饅頭山田錦	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 山田錦について関心を持つ。</p> <p>2 資料の範読を聞きながら黙読をする。</p> <p>3 資料を読んで話し合う。 (1) 各地で酒米を見たいと言う勢三郎の気持ちを考える。 (2) もみを手に入れた勢三郎の気持ちを考える。 ・名人からもみをわけてもらったとき ・大つぶの米が育たなかったとき ・夢にまでみた大つぶの米がとれたとき</p> <p>4 山田錦のよさに気づき、山田錦について誇りを持つ。 ・山田錦を使った商品を扱う人に話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本の写真や山田錦うどん、酒饅頭山田錦など、山田錦から作られているものを提示し、山田錦について関心を持たせる。 ・場面の情景や主人公の心情が読み取れるよう、丁寧にゆっくり読み聞かせる。 ・伊勢や泉州でよい酒米を見つけ、郷土の酒米をよくしたいという勢三郎の熱心さに気づかせる。 ・半ばあきらめかけていた勢三郎の気持ちをおさえる。 ・何年もくり返しもみをまき、丹精こめて育てた勢三郎の気持ちを捉えさせる。 ・山田勢三郎の足跡をたどることで、多可町の偉業に目を向けさせる。 ・山田錦に寄せる多可町の人々の思いに気づかせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 山田錦のよさを日本中に広めるためには、どうすればよいだろう。 </div>	
5 学習をふり返り、思ったことや感じたことを書く。	・本時の学習をふり返りながら、多可町への愛着を深めさせる。
わたしたちのふるさと多可町	P113～114
関連資料	紙芝居「山田勢三郎物語」 なかごころ夢団樂より「山田勢三郎」
関連機関等	
その他	

第5学年	
郷土の歌人 ー山口 茂吉ー	
<p>目標および時間数 (1時間)</p> <p>ふるさとへの思いをこめた多くの短歌を詠んだ郷土の歌人山口茂吉を通して、郷土を愛する心情を育てる。</p>	
<p>準備物 山口茂吉の写真 風景写真 山口茂吉の経歴(掲示用)</p>	
<p>【展開】</p>	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 山口茂吉の短歌にふれる。 「春の雪峯降りしつづ寒からむわがふるさとの村を思えば」</p> <p>2 山口茂吉の経歴を知る。 ・加美区清水の生まれ ・東京で勉強する ・アララギ派、斉藤茂吉の弟子 ・多くの歌集を出版 ・ふるさとを詠んだ短歌が多い</p> <p>3 茂吉のふるさとを詠んだ短歌を鑑賞する。</p>	<p>・北部体育館の前庭にある歌碑の写真を見せる。 ・歌に詠まれた季節や風景を尋ね、学習への動機づけとする。</p> <p>・茂吉の経歴を書いたもの(掲示用)を利用してしながら教師が簡単に説明する。 ・宮中歌会始めに民間人として初めて参加したことやNHK、新聞社、雑誌社の選者として活躍したこと、病と闘いながら多くの歌集を出版したことなどを紹介する。</p> <p>・再度導入で扱った短歌を範読した後、児童にも読ませる。 ・峯降り(山の稜線が雪で白くなった様子)の風景写真を見せながら詠まれている内容を簡単に説明する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>茂吉の頭の中には、ふるさとのどんな様子が思い描かれているでしょう。</p> </div>	
<p>・なつかしいふるさとの風景 ・家族や親しい友への思い ・子どもの頃の村での暮らし</p> <p>4. 地区の人たちが「歌の散歩道」(茂吉の歌碑28本)を作っているわけを考える。 ・郷土が生んだ偉大な歌人 ・ふるさとを愛する心</p> <p>5. 学習の振り返りをする。</p>	<p>・「わがふるさとの村を思えば」に注目して、茂吉のふるさとへの思いを想像させる。 ・他2・3点、ふるさとを詠んだ短歌を紹介し、児童に詠ませて、教師が意味を説明する。</p> <p>・茂吉の歌人としての功績を称えるところにいつまでもふるさとを愛し続けた茂吉を大切にしていこうとしている地区の人たちの思いにふれる。 ・多くの短歌愛好者を生むなどふるさとの文化に灯をともし続けていることにもふれる。 ・本時の学習に対する感想を振り返りカードに書く。</p>
わたしたちのふるさと多可町	P112
関連資料	播磨の奥座敷 多可
関連機関等	杉原谷小学校 加美区清水
その他	参考：学習資料集「すぎはら」民族文化編

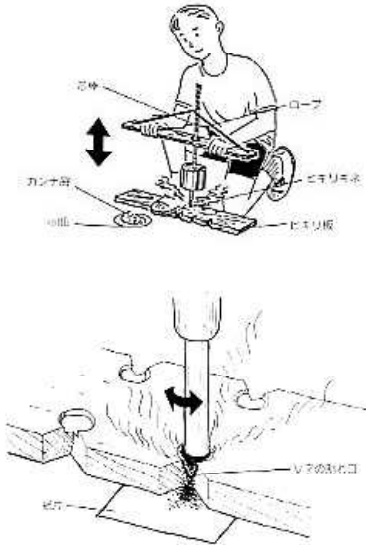
第5学年	
播州歌舞伎	
目標および時間数（1時間） 伝統芸能としての「播州歌舞伎」がもつ和の心、芸に対する情熱、受け継いできた人々の熱き思いなどを通して、地域文化のすばらしさを知る。	
準備物：掲示物	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 播州歌舞伎で使用する道具を見る。	・播州歌舞伎についての興味と、学習への意欲を持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">播 州 歌 舞 伎 を 知 ろ う</div>	
2 「わたしたちのふるさと多可町」から播州歌舞伎についてを知る。 ・播州歌舞伎をする組織の数 多可町内に2つ （カブキッズたか・小学生対象、多可町播州歌舞伎クラブ・中学生以上） ・播州歌舞伎の歴史 350年以上 ・播州歌舞伎のおもしろさ ・嵐獅山一座の人の話	・「わたしたちのふるさと多可町」に書かれていることを手がかりにして播州歌舞伎について理解させる。 ・歌舞伎の種類の違いについて聞く児童があれば、以下のように知らせる。 大歌舞伎…役者を職業とするプロが大劇場で演じる 農村歌舞伎…地域の祭礼等で役者を職業としない地元の素人が演じる歌舞伎 ・江戸時代の娯楽は、寄席（落語など）、見世物（大道芸・手品・珍しい外国の動物）、浮世絵、相撲や歌舞伎など現在より種類が少なく、歌舞伎は人気があったことを知らせる。 ・おもしろさにあげられた3つについて、簡単な説明を入れながら紹介する。 大げさな所作（動作） せりふまわし（言葉） 身近なものを使った演出（小道具） ・おもしろさに共通する客受けをねらった演技に気づかせる。
3 「わたしたちのふるさと多可町」にない播州歌舞伎について話を聞く。 義経千本桜…笑いを誘う内容 傾城阿波鳴門どんどろ大師…涙を誘う内容 寿式三番叟…祭礼等の神事で舞う	・「わたしたちのふるさと多可町」に書かれたことから、新たな疑問や問いをもとに話を発展させていく。 なぜ どうして ・実際に鑑賞や体験をした経験がある児童がいたら、見たことを話させる。 どんな演目、どんな内容 ・鑑賞した経験がない場合は、演目と簡単な展開を紹介する。 涙を誘うもの、笑いを誘うもの ・役者たちの苦勞を知るとともに、生活に根付いた芝居であることを伝える。 ・播州歌舞伎の特徴を知り、土地に住む人々とともに歩んできた事実をつかませる。
4 まとめをする。	・次時は、播州歌舞伎の動画を鑑賞することを伝える。
わたしたちのふるさと多可町	P79～80
関連資料	播州歌舞伎に関するホームページから
関連機関等	多可町播州歌舞伎クラブ等
その他	

第5学年	
播州歌舞伎	
目標および時間数（1時間） 伝統芸能としての「播州歌舞伎」がもつ和の心、芸に対する情熱、受け継いできた人々の熱き思いなどを通して、地域文化のすばらしさを知る。	
準備物 ビデオ・台本（寿式三番叟、どんどろ大師、義経千本桜）	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 播州歌舞伎のおもしろさについて確かめる。	・播州歌舞伎のおもしろさに挙げた3点を思い出させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">播 州 歌 舞 伎 を 見 よ う</div>	
2 おもしろさを伝える播州歌舞伎の動画をみる。 ・大げさな所作 身振り、手振りなど ・方言やなまりを取り入れたせりふまわし ・身近にあるものを使った演出 傘を使って（どんどろ大師）	・播州歌舞伎の映像を見ながら、3つのおもしろさ確かめていく。 ・口上文を読み、述べ方を予想させてから、鑑賞させる。 ・地方を巡業するために、地域を取り入れたせりふの場を紹介する。（どんどろ大師） ・笑いを誘う言葉のかけ合いの場を紹介する。 ・かけ合いの中には、客に向けたアドリブもあることを伝える。（義経千本桜） ・映像から何をを使った演出か予想させた上で、鑑賞させる。その他の工夫を紹介する。 段ボールを使って、鎧を作っている お椀やラップの芯などで鼓を作っている
3 寿式三番叟を鑑賞する。	・三番叟についての解説をした後、鑑賞させる。 三 番 叟：能に伝わる祭儀的な演目。翁役中の太夫という姫が務める 面箱持ちの舞：揉之段の舞（躍動的に足拍子を踏みしめ、力強く舞う） 鶴亀の舞：鈴之段の舞（鈴は稲穂を表し、鈴をエネルギーに振ることにより、五穀豊穡が叶うとされている） ・静かにして優雅な舞と、動である舞の違いを感じとらせたい。 ・踊りに込められる願いは天下泰平、五穀豊穡であることを伝える。
4 まとめをする。	・鑑賞した後、伝統芸能である播州歌舞伎を守るためにできることを書かせる。
わたしたちのふるさと多可町	P79～80
関連資料	播州歌舞伎の動画、播州歌舞伎の台本
関連機関等	多可町播州歌舞伎クラブ等
その他	三番叟の鑑賞は別時間の設定実施もよい。

第6年生	
まいぎり式火起こしを体験しよう	
<p>目標および時間数（3時間）</p> <p>火起こしの活動を通じて、先人の工夫に触れ、多様な工夫を体験する。</p>	
<p>準備物 まいぎり式火起こし器、着火剤（も草、おが屑、ほぐしシュロ縄等）提示用火起こし器（まいぎり式、もみぎり式、弓きり式）</p>	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 普段の生活から、火を起こす手段を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライター、マッチ、チャッカマン等 <p>2 ライターやマッチのなかった時代の人は、どんな方法で火を手に入れたのかを想像する。</p> <p>【自然発生】・・・落雷、火山活動等の燃え残りから</p> <p>【道具による火起こし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・こすりつけて ・・・火花を起こす ・・・太陽の光から <p>3 まさつ熱を利用した火起こし方法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もみぎり式（縄文時代後期約3500年前～中世） ・ゆみぎり式 ・まいぎり式（江戸時代） <p>4 まいぎり式火起こし器を使った火起こし体験をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、児童たちが使うことはないと思われるが、家庭での営みの中から想起させる。 ・出にくい場合は、指導者から、人類が誕生する前から、火は火山や落雷、自然発火等で存在していたこと、そして、その燃え残りを利用していたことを補足する。 ・こすりつけることによる摩擦熱の利用を考えさせたい。 ・テレビの時代劇等から知識として持っている児童もいると思われる。 ・オリンピックの聖火の採火から考えさせる。 ・自然発生的な火、道具による火のいずれにしても、発生した火を維持することにも工夫があったことを補足する。 ・代表的な三種類の火起こし方法を紹介する。 ・それぞれの火起こし器を提示し、火起こし体験への助走とする。 ・師範し、ポイントを指導する。 <p>【火種をつくるまで】</p> <p>①火きり板を足でしっかりと固定する。</p> <p>②両手で横木を持ち、ゆっくりと下げて、心棒を回転させる。</p> <p>③ひもが伸びきる少し前で力を抜き、反動</p>

【火種をつくるまで】

火種をつくるまで



で心棒にひもを巻き付けると横木が上がってくる。

- ④この上下運動をしばらくゆっくりと繰り返して、心棒がスムーズに回転するようになったら、少しずつ力を入れていく。
- ⑤木と木が摩擦しあっている手応えを感じるくらい力を加え、回転させる。
- ⑥しばらくすると煙が出てくる。その後黒い木の粉が落ちてきて、火きり板のV字の切れ込みにたまっていく。
- ⑦黒い木の粉があふれるぐらいになったら、一気に回転運動を速くする。煙が出ても回転運動を続ける。十分なところで回転運動をやめ、黒い粉の中に小さな火種ができていたら成功。

【火種をほのおにするまで】

火種を炎にするまで



【火種をほのおにするまで】

- ①火きり板を火種からそっとはなす。
- ②紙片（初めに火きり板のV字の切れ込みの下に置いておく）を取り上げ、火種を着火剤（も草、おが屑、ほぐしシュロ縄等）に移す。
- ③火種を消さないように息を吹きかけ、火種を徐々に大きくしていく。
- ④火種が親指の先ぐらいになると、燃えやすいものを足していき、ほのおを起こす。

5 体験して感じた事を出し合う。

◎先人が創造した文化の素晴らしさにふれることができたか。

わたしたちのふるさと多可町	P75
関連資料	石川県埋蔵文化財センター「火起こしの方法」他
関連機関等	那珂ふれあい館（火起こし器多数あり）
その他	那珂ふれあい館での体験学習または出前講座での体験

第6学年	
古墳時代にタイムスリップ ～東山古墳群を見学しよう～	
目標および時間数（4時間） ◎多可町に残る遺跡や歴史から、ふるさとを誇りに思う気持ちを育てる。 ○東山古墳についての学習、見学を通して、多可町の歴史にふれる。	
準備物 ワークシート	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 古墳時代について想起する。	
多可町にも、豪族はいたのかを考えよう。	
2 予想し、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容や遺跡などを根拠に話す児童の発言をほめる。 ・「わたしたちのふるさと多可町」やその他の資料などを活用する。（紙芝居） ・見たいところ、知りたいところなどをとりあげ、見学目的を明確にし、学習意欲を喚起する。
3 東山古墳について知る。 ・紙芝居	
4 見学について話し合う。	

1 学習の流れについて確認する。	・ボランティアガイドに進めてもらう。
古墳を見学し、その時代の人々のくらしを想像しよう。	
2 ボランティアガイドの話を聞く。 ・「多可」の名前の由来 ・東山古墳 ・権威をふるっていた豪族	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをとらせる。 ・自分の学習課題に沿った質問をさせる。 ・ボランティアガイドと会話をしながら見学できるような雰囲気をつくる。 ・感想を発表させる。
3 見学する。 ・出土品 ・古墳群 ※体験 (火おこし、勾玉)	
4 まとめる。	
わたしたちのふるさと多可町	
関連資料	那珂ふれあい館資料「巨大石室墳を掘る」
関連機関等	東山古墳群、那珂ふれあい館
その他	ボランティアガイド

第6年生	
勾玉作りに挑戦しよう	
目標および時間数（3時間） 勾玉作りを通じて、古代の人々の工夫や生活にふれる。	
準備物 勾玉作りセット	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 現代の人々が身に付けている装身具やお守りについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネックレス、指輪、イヤリング、ピアス、髪飾り、ミサンガ、ブレスレット、ブローチ、数珠等 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの人々の身に付けているものを思い浮かべさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 古代の人々は、どんなものを身につけていたのだろうか。 </div>	
<p>2 古代の人々の装身具について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勾玉、指輪、耳飾り、腕輪、肢体飾、櫛 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の多くの遺跡から出土していることを補足する。 ・町内の東山古墳からも多く出土していることを知らせるとともに、その材料がくから運ばれ、交流範囲が広がったことも補足する。 ・単なる飾り物としてだけでなく、お守り的な要素も持ち合わせていることを補足する。
<p>3 勾玉作りを体験する。</p> <p>① 出来上がりの形を考えながら、石に目印をつける。初めに、ひもを通すための穴をあけておく。</p> <p>② 表面がぎざぎざしている石にこすりながら、おおまかに形を作る。</p> <p>③ サンドペーパーを使って形を整える。</p> <p>④ 目の細かいサンドペーパーなどで仕上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・那珂ふれあい館の指導者の説明を聞いて、進めていく。 ・指やつめを傷つけないように気をつけさせる。
<p>4 勾玉作りの体験を通して考えたことを出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の人々が創造した勾玉が、現代の人人の装飾品として使われていることの意味も合わせて考えさせたい。
わたしたちのふるさと多可町	P75
関連資料	
関連機関等	那珂ふれあい館
その他	那珂ふれあい館での体験学習または出前講座での体験

第6学年	
郷土のほこり「杉原紙」	
目標および時間数（1時間） 杉原紙について興味をもち、調べようとする態度を育てる。	
準備物 西洋紙と杉原紙の卒業証書、杉原紙の歴史を扱ったプレゼン、PC、液晶プロジェクター	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 西洋紙と杉原紙で作られた卒業証書を比べ気づいた事を出し合う。	・手触り、あたたかみなど杉原紙の良さに気づかせ、証書作りに関心を持たせる。
杉原紙についてくわしく調べよう。	
2 杉原紙の歴史を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・1000年以上前から紙が漉かされている。 ・租（そ）・庸（よう）・調（ちょう）の調として杉原紙が都に。 ・1116年に、「杉原庄紙」という名が、はじめて歴史史料にあらわれる。『藤原忠実（ただぎね）の日記』 ・室町時代、杉原紙が写経・公文書に使用される。 ・江戸時代、紙の使用量が増え、「〇〇杉原」の名で全国各地に紙の産地が生まれる。しかし、江戸中期以降杉原谷では換金に有利な木を楮に代わって植林。 ・杉原紙が途絶える。（大正時代） ・1940年新村 出・寿岳文章「杉原谷が杉原紙の発祥の地と。」 ・1972年、杉原紙研究所開設。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助教材として、年表やプレゼンを準備し、児童が杉原紙の歴史の移り変わりを捉えやすいように工夫する。 ・自主学習のため、『杉原紙の歴史』など、参考資料を紹介する。 ・メモを取りながら話を聞く。
3 感想や疑問をまとめ発表し合う。	・次時の杉原紙研究所見学につなげるために、疑問を整理しながら板書していく。
わたしたちのふるさと多可町	P77～78
関連資料	まんが「杉原紙の歴史」、歴史プレゼン
関連機関等	杉原紙研究所、寿岳文庫、紙匠庵でんでん
その他	

第6学年	
郷土のほこり「杉原紙」	
目標および時間数（2時間） 杉原紙研究所へ出かけ、杉原紙の素晴らしさや作る人の思い・苦勞・願いを知ろう。	
準備物 探検ボード，メモ用紙	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1000年以上の歴史を持つ杉原紙の素晴らしさや携わる人々の思いを知ろう	
<p>1 杉原紙研究所の方に疑問を投げかけ、課題を解決する。</p> <p>①杉原紙の素晴らしさ ②杉原紙作りの作業工程 ③携わる人々の苦勞や願い</p> <p>2 寿岳文庫を見学し、先人の努力により杉原紙が復活し現在に至っていることを知る。</p> <p>3 紙匠庵でんでんの方のお話や杉原紙製品の見学を通して、杉原紙の素晴らしさに気づかせる。</p> <p>・杉原紙の手ざわりの良さ ・ぬくもり ・きめ細やか ・和紙の良さを生かした製品</p> <p>4 見学を終えて、心に残ったことを出し合う。</p>	<p>・自分の思いと比べながら話を聞き、分かったことや感想，疑問を短くメモをさせていく。</p> <p>・発展学習としてパンフレットや新聞作りを行う場合は，記事にしたい内容を見つけることも意識させておく。</p> <p>・多くの人の杉原紙復活までの努力や復活にかける思いに触れさせ，杉原紙への愛着やそこに携わった人々への畏敬の念を持たせる。</p> <p>・杉原紙が現在どのように生かされているかを知る。</p> <p>・杉原紙の良さを広めていこうとする人々の思いに気づかせる。</p> <p>・杉原紙の伝統を受け継ぎ発展させていこうとする思いを持たせる。</p>
わたしたちのふるさと多可町	P77～78
関連資料	杉原紙研究所，寿岳文庫，紙匠庵でんでんのパンフレット
関連機関等	杉原紙研究所，寿岳文庫，紙匠庵でんでん
その他	発展学習としてパンフレットや新聞，HP作り等に取り組む

第6学年	
郷土のほこり「杉原紙」	
目標および時間数（2時間） 杉原紙の伝統を感じながら，心を込めて卒業証書をすきあげることができる。	
準備物	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 卒業証書にはどんな意味があるのかを考え，卒業証書作りへの意欲を高める。	・小学校生活への想いと共にふるさとへの感謝や未来への夢をたくす卒業証書にしようという思いを持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 世界で1枚だけの卒業証書作りを心を込めて取り組もう </div>	
2 しっかりと説明を聞き，ポイントを押さえながら作業する。	・集中して作業に取り組むようアドバイスをする。 ・体験を通して，作業の難しさや職人の技のすごさを感じさせる。
3 お世話になった人々への感謝へ気持ちを伝える。	・体験を通して感じたことを出し合う。 ・研究所員の方より児童の活動について感想を尋ねたり，今後の作業予定を聞いたりすることで，児童に充実感を持たせる工夫をする。 ・お世話になった人への感謝の気持ちを心を込めて伝える。
わたしたちのふるさと多可町	P77～78
関連資料	
関連機関等	
その他	研究所に感想文や感謝の手紙を送る

第6学年	
村人を守るために - 夏梅太郎衛門	
目標および時間数（1時間） 自分の命と引きかえに、村人の生活や郷土を守ろうとする夏梅太郎衛門を通して、郷土を大切にしようとする心情を育てる。	
準備物 掲示用挿絵 夏梅太郎衛門の言葉（掲示用） ふりかえりシート	
【展開】	
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 「碑文夏梅太郎衛門終焉の地」の写真を見て、夏梅太郎衛門について知っていることを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に見学できれば碑を見学に行っておく。 ・ 本時の学習への動機づけとする。
2 代官所に「年貢をへらして下さい」と直訴に行った太郎衛門の思いを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料「村人を守るために」を読んで考えさせる。 ・ 時代背景や人物について、挿絵を用いて簡単に説明をする。 ・ 熊野部村の人たちの生活を守るために、庄屋として努力する太郎衛門の心情に迫らせる。 ・ お願いと直訴の違いを知らせ、自分の命と引きかえに代官所へ直訴をするということへの太郎衛門の苦悩を感じ取らせたい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>夏梅太郎衛門は、処刑される前に、村人たちにどんなことを伝えたかったのでしょうか。</p> </div>	
3 夏梅太郎衛門は村人にどんなことを伝えたかったのかを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処刑前の最後の言葉に注目して太郎衛門の村や村人への思いを考えさせる。 ・ 文中の「わたしの気持ち」に注目して考えさせる。
4. 地域の人々が夏梅太郎右衛門の碑を建て、神社でもお祭りをしていくわけを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村人が太郎衛門のほこらを建てたり碑を新しく建て替えたりしていることから今も人々から慕われていることを知らせる。 ・ 先人の努力により、今の平和な生活があることを感じ取らせたい。
5. 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習の感想をふり返しカードに書く。
わたしたちのふるさと多可町	P115～116
関連資料	
関連機関等	松井小学校 加美区熊野部
その他	

町花・町木・町鳥

(平成18年1月1日制定。平成17年12月16日多可町議会第1回定例会で議決)

【町花】



のぎく



春蘭(しゅんらん)



ささゆり

【町木】



けやき



杉



ひのき

【町鳥】



キジ